

史跡 生野銀山（シルバー生野）

施設管理者 : (株)シルバー生野
施設所在地 : 兵庫県朝来郡生野町小野字大谷筋 33 - 5
調査見学時期 : 平成 8 年 11 月 14 日

施設概要

807 年に開坑され、1542 年には銀鉱脈が発見され本格的な採掘が始まった。それ以降、昭和 48 年に閉山されるまで国内有数の大鉱山として稼働した。操業時の坑道は、地下 880m の深部に達し、その総延長は 350km にも及んだ。

閉山後、観光坑道としてリニューアルし現在に至っている。

観光坑道は、全長 1,000m が整備され、江戸時代と近代の地下での作業の様子が再現されている。その他、日本各地から集めた鉱物標本を中心に 2,000 点を展示した「生野鉱物館」や江戸時代、幕府に献上する上納銀が出来るまでの工程（製錬、当時の言葉で吹屋）を 11 体の電動人形で再現した「吹屋資料館」も併設されている。

